

銀河レポート401

No. 43
12月

発行日：平成30年12月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリアム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

12月の星空

おうし座

冬の夜空で輝く1等星の中に、おうし座のアルデバランという星があります。牡牛の右目にあたる赤く見える星です。アルデバランを含むV字の星の並びが牡牛の顔、V字から上に伸ばしたところにある星が角です。そして肩にあたる付近にプレアデス星団が見られます。ギリシャ神話によると、天から地上を見ていてエウロペ(Europe)という女性に一目ぼれした大神ゼウスは、牡牛に化けて地上に降り、エウロペを背中に乗せてすごい速さで駆け出しました。そして、たどりついた島で愛を伝え2人で幸せに暮らしたそうです。この島は、のちにヨーロッパと呼ばれるようになりました。おうし座の星座絵の顔が幸せそうな笑顔なのはそのためです。

冬の宝石 プレアデス星団

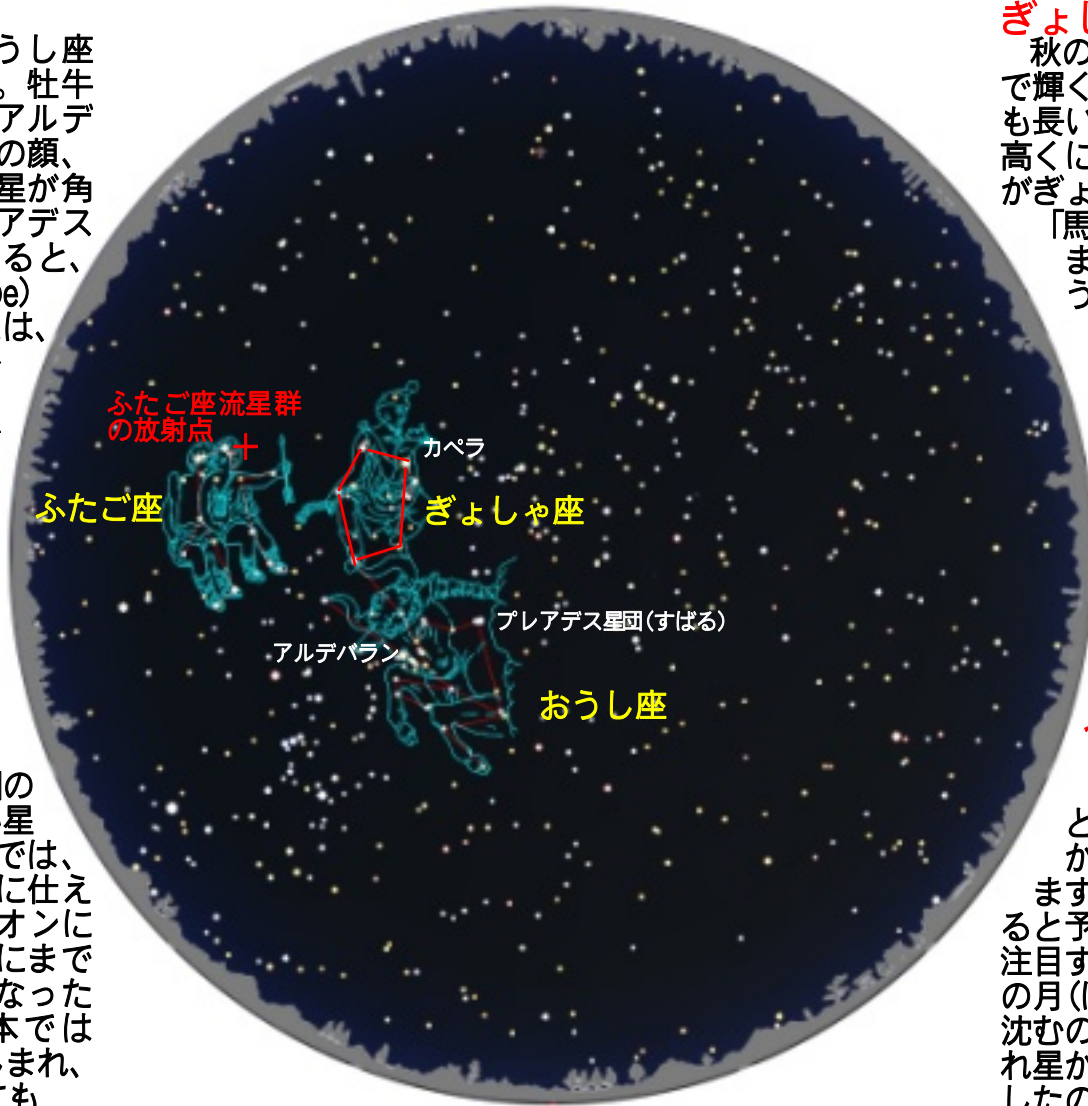
冬の夜空に宝石のようにきらめく星の集団が見られます。おうし座のプレアデス星団です。肉眼で見ると5~7個の星が、双眼鏡で見ると数十個の青白い星が集まって見えます。ギリシャ神話では、プレアデスとは月の女神アルテミスに仕えていた7人姉妹の名前です。狩人オリオンに追いかけられた時、ハトになって天にまで逃げ昇って美しい星団になったと言われています。日本では「すばる」と呼ばれて親しまれ、平安時代の「枕草子」にもその記述が見られます。



プレアデス星団

12月15日21時の星図

北



南

ぎょしゃ座

秋の初めから翌年の初夏にかけて夜空で輝く1等星のカペラは、北半球では最も長い期間見える1等星です。冬の夜空高く見えるカペラを含む五角形の星座がぎょしゃ座です。ぎょしゃ(御者)とは「馬車を制御する者」という意味です。また、カペラには「メスヤギ」という意味があるそうです。この五角形の姿から、日本では「五角星」、中国では「五車」という名前で親しまれています。カペラの色は黄色っぽいクリーム色で、太陽を遠くから星としてながめたときの色と同じです。また、地平線から昇ってくるときは七色に変色して見えるときもあり「にじぼし(虹星)」とも呼ばれています。

ふたご座流星群

しぶんぎ座流星群、ペルセウス座流星群とともに三大流星群のひとつとして知られるふたご座流星群が12月10日から18日にかけて活動します。ピークは12月14日の21時頃になると予想されていますので、20時頃から注目するとよいかと思われます。この日の月(ほぼ上弦の月)は22時過ぎには西へ沈むので、比較的好条件でたくさんの流れ星が見られそうです。寒くなってきましたので、防寒対策をしっかりとって流れ星をお楽しみください。

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

第3回 宇宙塾 報告

「宇宙はどのように始まったのか？」

インフレーション理論提唱者の第一人者である佐藤勝彦先生をお招きして、11月10日(土)に「宇宙塾」を実施しました。インフレーション理論とは、宇宙が火の玉で始まったこと等を説明するために提唱されたものだそうです。真空のエネルギーによって素粒子のように小さな「空間」が急激に膨張し「ビッグバン」が始まる過程やそれを証明する観測結果等をととてもわかりやすく説明していただきました。講演後には多くの方から質問が出され、熱い感動に包まれました。



11月のガリレオ教室 報告

〈流れ星のひみつ〉

11月11日(日)に天文ボランティア主催のガリレオ教室を実施しました。参加者は、流れ星とは何か、どのようにできるのか等を映像を使って学習しました。また、流れ星が夜明けによく見られる理由について、地球の公転を模した霧吹きを使った実験を通して楽しく学習しました。



12月のガリレオ教室

〈日食のひみつ〉

来年の1月6日の朝、日本で部分日食が見られます。そこで、日食のしくみや今回の日食の特徴、観察の仕方や注意事項等について、天文ボランティアが映像等を使ってわかりやすく説明します。また、日食グラス作りもします。

〈日時〉
12月9日(日)
①11時から11時20分
②14時から14時20分

〈場所〉
5階コズミックラウンジ



★★観望会★★

《博物館主催観望会》

日時：12月14日(金)
19時から21時
場所：伊坂ダムサイクルパーク
管理事務所付近
内容：ふたご座流星群と
冬の星空観望会

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です。
※きらら号は出勤しません。

《博物館主催きらら号観望会》

日時：12月22日(土)
17時から18時30分
場所：博物館前市民公園
内容：月と火星を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です。

12月の月

7日		新月
15日		上弦
23日		満月
29日		下弦

編集後記

寒くなってきました。空気が澄んで星空に透明感が増してきたように感じます。12月には、様々な行事で夜間に外出する機会が増えるかと思えます。そんな時に夜空を見上げると漆黒の空に光を放つ冬の星々と出会えます。冬の星空は明るい恒星たちが様々な色の光を放ちます。吸い込まれるような深くて暗い夜空と星とのコントラストが楽しめる季節を迎えました。♪